

## ■ 掲示板

### ■ 自然科学研究機構・分子科学研究所 教授公募

人数：教授 2 名程度

研究分野：分子科学に新機軸を切り拓く実験研究者。分子科学研究所のこれまでの研究対象のみならず、幅広い分野を対象とする。

公募締切：平成23年10月10日(月) (当日消印有効)

就任時期：できる限り早期を希望する。

提出書類：

詳細は必ず <http://www.ims.ac.jp/jinji/2011/111010.html> をご覧ください。

- (1) 推薦書 (自薦の場合は必要ありません。)
- (2) 履歴書 (所定書式に従って下さい。)
- (3) 研究業績の概要 (A4 用紙で 2 ページ以内)
- (4) 研究構想 (A4 用紙で 2 ページ以内)
- (5) 業績リスト (所定様式に従って下さい。)
- (6) 主要論文10編以内の論文別刷又はプレプリント 各 2 部。

特に重要な論文 3 編を明示してください。

※原則として、提出書類の返却はいたしません。

選考方法：分子科学研究所運営会議人事選考部会の審議を経た上で決定する。ただし、適任者のない場合は、決定を保留することがある。

送付先：〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38番地  
大学共同利用機関法人自然科学研究機構 岡崎統合事務センター  
総務部総務課 人事係

(「分子科学研究所教授公募書類在中」と朱書きして、簡易書留で送付すること。)

問い合わせ先 (給与等の待遇を含む)：

大学共同利用機関法人自然科学研究機構 岡崎統合事務センター  
総務部総務課 人事係 電話：0564-55-7113

その他：分子科学研究所は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画に取り組んでいます。なお、具体的内容は、<http://www.ims.ac.jp/jinji/sankaku.html> を参照下さい。

### ■ 平成24年度前期 高エネルギー加速器研究機構

#### 物質構造科学研究所 放射光共同利用実験課題公募

募集対象：当施設の放射光および低速陽電子を利用する実験。

主に大学等の研究者を対象としますが、科学研究費補助金の申請資格を有する企業等の基礎研究も対象となります。

応募期限：平成23年11月4日(金) 17時

応募要領：

実験課題申請システム <https://pmsweb.kek.jp/k-pas/> を利用した電子申請となります。

申請受付は平成23年10月初旬からの予定です。

具体的な申請書作成等に関する詳細については <http://www.kek.jp/uskek/apply/pf.html> を参照ください。

その他：研究成果は公表していただきます。

問合せ先：

高エネルギー加速器研究機構

研究協力部研究協力課

共同利用支援室共同利用係

e-mail：kyodo1@mail.kek.jp

Tel：029-864-5126

### ■ 大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構

#### 物質構造科学研究所 研究員公募

公募人員：研究員 1 名 (単年度契約とし、審査の上で年度毎に更新を行うものとします。現在の事業期間は平成24年度末までですが、評価の上 3 年毎に延長となる可能性があります。)

研究分野及び研究内容：以下の分野で、企業がフォトンファクトリーを利用して行う研究に対し、研究設計から解析、解釈までの指導・支援を行う。先方との合意が得られれば、出来るだけ共同研究的に進めたいと考えています。

- 1) 主に XAFS 法を用いた触媒構造解析、反応等に関する研究。
- 2) 主に XAFS 法や蛍光 X 線分析法を用いた各種材料、電池、環境試料などの材料解析、反応等に関する研究。

なお、本業務への専念割合を 80% 程度とすることで、研究上の自由度を確保します。

応募資格：着任時点で博士修了または同等以上の能力を有する者。修士修了者でも能力・意欲の高い方は歓迎。放射光を用いた XAFS 研究や関連分野の研究に関する経験を有することが望ましい。

提出書類：(1)履歴書、(2)研究・業務歴、(3)着任後の抱負、(4)発表論文リスト、(5)論文別刷 (3 編以内)、(6)本人に関する意見を伺うことのできる方 2 名の氏名、連絡先

着任時期：採用決定後できるだけ早い時期

公募締切：2011年11月11日 (但し適任者が見つかり次第、締め切ります)。

書類送付先：〒305-0801 つくば市大穂 1-1

高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 放射光科学研究施設秘書室

問合せ先：

野村昌治 tel 029-864-5633

e-mail：masaharu.nomura@kek.jp

詳細は <http://www.kek.jp/ja/jobs/index.html> を参照して下さい。

## ■会告

### ■日本放射光学会第91回評議員会議事録

日時：2011年7月9日(土) 14:00~16:00

場所：東大工学部5号館第6輪講室(233A号室)

出席者：足立純一，雨宮慶幸，大橋治彦，尾嶋正治(会長)，  
加藤政博，木村真一(会計幹事)，佐々木 聡，澤 博，  
下村 理，辛 埴，大門 寛，高田昌樹，田中 均，  
生天目博文，平井康晴，藤森 淳，宮原恒暉，  
村上洋一，柳下 明，若槻壮市 各評議員  
足立伸一(編集幹事)，原田慈久(庶務幹事)，木村 滋  
(行事幹事)

欠席者：朝倉清高，石川哲也，太田俊明，小杉信博，小林克己，  
繁政英治，竹田美和，間瀬一彦，水木純一郎(渉外幹  
事)，八木直人

事務局：佐藤亜己奈(WORDS)

#### 〈審議事項〉

- 「放射光学会誌の冊子印刷と電子出版に関するアンケート」  
調査結果  
2011年5月25日~6月13日にWEBフォーム入力によって「放射光学会誌の冊子印刷と電子出版に関するアンケート」を実施したことが報告された。学会誌の形態に関する回答は、冊子体を必要とする割合が33% (現状維持または2色刷り印刷+フルカラー版PDFを希望)、冊子体なし・電子版のみ60% (デジタル雑誌版またはフルカラー版PDFを希望)であった。  
アンケートの結果を受けて、執行部より今後の方針案が示され、2011年7月の編集委員会で電子化検討WG立ち上げて検討を開始、2012年1月末(25巻1号)より2色刷り(+オンラインカラー版)を開始、2013年4月より電子版仮運用開始、会員からのフィードバック、2014年1月より2色刷り冊子体廃止、電子版のみに移行という流れで進めることを承認した。出席委員より、ホームページ全体のリニューアルや広告の工夫も必要ではとの意見がありこれらも含めて検討することとなった。  
また、今回のアンケートは正会員を対象としていたため、賛助会員にも冊子体廃止について意見を聴くこととした。
- 会長選挙の細則改訂について  
会長候補に辞退者が出た場合について、現行の会長選挙に対する学会細則第5条第1項では対応することができないため、細則の改訂が提案され、下記の通り承認した。

(改訂前)
細則 第5条 1. 評議員会は、会長任期2年目の6月15日以前に、全正会員に正会員の中から次期会長候補者の推薦を求め、その中から上位3位以内に推薦された者を次期会長候補者とする。
(改訂後)
細則 第5条 1. 評議員会は、会長任期2年目の6月15日以前に、全正会員に正会員の中から次期会長候補者の推薦を求め、その中から上位3位以内に推薦された者に <u>予め受諾の意思を確認した上で</u> 次期会長候補者とする。 <u>ただし候補者は最低3名とし、辞退者が出て3名を下回った場合は順位を繰り上げて上位3位を候補者とする。</u>

- 定款第1章総則第2条の改訂について  
学会の定款において、放射光科学、放射光技術およびこれらに密接に関連する学問(以下、放射光科学という)の進歩発展を図ることが目的として明記されているが、「社会貢献」「産業への貢献」に関する文言が含まれていない。昨今の情勢を鑑みると、これらの文言を定款に含めるべきではないかという提案が評議員からあった。検討の結果、定款の改訂について下記の通り承認し、次回総会に諮ることとなった。

(改訂前)	
定款 第1章、第2条	本会は、放射光科学、放射光技術およびこれらに密接に関連する学問(以下、放射光学という)の進歩発展を図ることを目的とする。
(改訂後)	
定款 第1章、第2条	本会は、放射光科学、放射光技術およびこれらに密接に関連する学問(以下、放射光学という)の進歩発展を図り、社会へ貢献することを目的とする。

- 協賛・後援・協力について  
原田庶務幹事より本学会に対する協賛・後援・協力依頼について報告があり、協賛8件、後援1件、協力1件を承認した。
- 会員異動(入会)  
原田庶務幹事より、第90回評議員会以降の入会申請者に関して、正会員6名(うち学生会員3名)の報告があり、これを承認した。

#### 〈報告事項〉

- 次期会長・評議員選挙結果  
原田庶務幹事より、次期会長・評議員選挙の結果について報告があった。次期会長および改選評議員(15名)は下記の通り決定した。

次期会長：水木純一郎

新評議員：足立伸一，雨宮健太，柿崎明人，籠島 靖，  
河田 洋，北村英男，木下豊彦，木村 滋，  
坂田 誠，谷口雅樹，野村昌治，初井宇記，  
百生 敦，横山利彦，渡邊信久

2. 第16回学会奨励賞応募状況  
原田庶務幹事より第16回学会奨励賞の応募状況について報告があった。
3. JSR12の準備状況  
木村行事幹事より第25回・年会・合同シンポ（JSR12）の準備状況（組織委員会，プログラム委員会，実行委員会，予算案）について説明があった。
4. 第3回放射光基礎講習会準備状況  
木村行事幹事より第3回放射光基礎講習会「入門者のための放射光光源・光学技術の基礎と応用」の準備状況について報告があった。開催日は2011年9月6日-7日，場所は関西学院大学上ヶ原キャンパス B 号館104号室。
5. 第3回若手研究会準備状況  
木村行事幹事より第3回若手研究会「水の構造と物性研究の最前線—放射光による新たな研究の展開」の準備状況について報告があった。開催日は2011年8月18日-19日，場所は姫路市立美術館講堂。
6. 会誌編集・ブルーバックス進捗状況  
足立編集幹事より会誌の進捗状況，ブルーバックス出版の進捗状況について報告があった。ブルーバックスは9月20日に発行予定。
7. JSR11報告のSRNへの投稿  
JSR11報告をSRNに投稿し，近日掲載予定であることが報告された。
8. OFSRR2011, Cheiron School 2011活動報告  
AOFSSRR2011は2011年10月24日-28日にバンコクで，Cheiron School 2011は9月26日-10月5日にSPRING-8で開催との報告があった。
9. 会員異動（退会）  
原田庶務幹事より第90回評議員会以降の退会申請者に関して正会員11名（うち学生会員5名）との報告があった。2011年7月9日現在の総会員数は1,336名（うち学生会員118名），シニア会員5名，賛助会員47社49口。
10. 文部科学大臣表彰受賞候補の推薦について

平成24年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候補の推薦について放射光学会宛てに依頼があった。今回はXFELを特別賞候補として推薦することとなり，現在準備を進めているとの報告があった。

11. 猿橋賞の学会推薦について  
第31回女性科学者に明るい未来をの会（猿橋賞）受賞候補者の推薦依頼が放射光学会宛てにあり，2011年11月15日締切りで評議員から推薦を受付中との報告があった。
12. 24学会連名での要望書  
日本中性子科学会会長より「東日本震災による被災中性子および量子ビーム施設の早期復旧に関する要望」を文部科学大臣に向けて学会長連名で共同提出したいとの依頼があり，放射光学会も賛同した旨の報告があった。

## ■会員異動

第91回評議員会（2011年7月9日）で承認

### 《正会員入会》

吹留 博一 東北大学電気通信研究所  
寺岡 靖剛 九州大学大学院総合理工学研究院エネルギー物質科学部門  
酒井智香子 東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻尾嶋研究室

以上3名

### 《学生会員入会》

松田 太一 東京大学工学系研究科物理工学専攻和達研究室  
清家はるか 東京大学新領域創成科学研究科物質系専攻雨宮研究室  
北川 哲 奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科凝縮系物性学講座

以上3名

### 《退会会員》

正会員6名，学生会員5名

### 《会員数》

会員1336名（内学生会員118名）  
シニア会員 5名 賛助会員47社（49口）

## ■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2011年 11/3-5	第41回結晶成長国内会議 (NCCG-41)	つくば国際会議場	日本結晶成長学会 E-mail: jacg@words-smile.com	24・4
11/4-5	第11回 X 線結像光学シンポジウム	東北大学 片平キャン パス内 片平さくら ホール	X 線結像光学研究会	24・4
11/9-11	第52回高圧討論会	沖縄キリスト教学院	沖縄キリスト教学院 E-mail: nakama@sci.u-ryukyuu.ac.jp	24・3
11/18	日本表面科学会関西支部主催 実用表面分析セミナー2011	神戸大学 百年記念館六甲ホール	(株)日本表面科学会関西支部 E-mail: jun.hirose@horiba.com	24・5
12/6-7	物構研シンポジウム '11「量子ビーム科学 の展望—ERL サイエンスと強相関電子構 造物性—」	つくば国際会議場	高エネルギー加速器研究機構 物質構 造科学研究所 E-mail: imss-sympo@pfqst.kek.jp	24・5

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

### ■日本表面科学会関西支部主催 実用表面分析セミナー2011

表面分析の実務者やより進んだ表面分析を模索しておられる方を対象。表面分析の解析技術のノウハウやヒント、最新の分析技術の紹介。

主 催：(株)日本表面科学会関西支部

日 時：11月18日(金) 10:30-17:00

場 所：神戸大学 百年記念館六甲ホール(神戸市灘区)

参加費：

無料(但し、テキスト代は表面科学基礎講座受講者および表面科学会会員には無料配布、その他一般の方で希望される方は2,000円、学生1,000)

申し込み & ホームページ：

[http://www.sssj.org/Kansai/kansai\\_jitsuyou14.html](http://www.sssj.org/Kansai/kansai_jitsuyou14.html)

問合せ先：

〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2

堀場製作所 廣瀬 潤

E-mail: jun.hirose@horiba.com

FAX: 075-325-5035, TEL: 075-315-4851

### ■物構研シンポジウム '11

「量子ビーム科学の展望—ERL サイエンスと強相関電子構造物性—」

物構研では、加速器を用いた量子ビーム(放射光・中性子・ミュオン・低速陽電子)を、共同利用として多くのユーザーに提供し、幅広い研究・利用分野での成果を目指しております。中性子

・ミュオン分野では、J-PARCにおける世界最高強度のビームを用いた利用研究によって優れた成果が創出されつつある一方、PFにおいても、次期放射光源として、エネルギー回収型リニアック(ERL)の実現を目指した開発が進められています。今年度で第四回目となる物構研シンポジウムでは、「量子ビーム科学の展望—ERL サイエンスと強相関電子構造物性—」と題して、ERLを使ったサイエンスと、強相関電子構造物性に関する展望を御議論頂きたいと考えております。

シンポジウム初日には、ERL計画に関する準備状況の報告に加え、人工光合成や化学反応におけるERLを用いたサイエンスの展望についてお話を頂きます。また、コーネル大学におけるERLプロジェクトの進め方について、今年6月に行われたワークショップXDL2011(Science at the Hard X-ray Diffraction Limit)のサマリーを御報告いただく予定です。2日目には、物構研のもつ複数のプローブを相補的に利用して展開しつつある、強相関電子構造物性に関する研究について、4つのセッションを設け、ERLの利用も視野にいれた将来展望を御議論して頂く予定です。

皆様には、これまでの物構研シンポジウムと同様に、是非積極的にご参加いただき、活発な議論を展開していただきけることを期待しております。また、ポスターセッションも行いますので、奮ってポスター発表にも御応募ください。

主 催：高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所

協 賛：日本放射光学会、他

日 時：2011年12月6日(火)~7日(水)

場 所：つくば国際会議場(エポカルつくば)

参加費：無料

**参加申込方法：**

シンポジウムホームページの参加申込フォームにてお申込下さい。旅費のサポート、宿泊を希望される方は11月4日(金)までをお願いします。旅費、宿泊を伴わない参加申込は当日まで受け付けます。なお、旅費のサポートは、ポスター発表者を優先させていただきます。

**ポスターセッション：**

ポスター発表をご希望の方はシンポジウムホームページ参加申

込フォームよりご応募下さい。

ポスター発表申込締切：10月21日(金)

ポスター要旨締切：10月28日(金)

懇親会：12月6日(火) 会費は別途徴収。

**問合せ先：**

物構研シンポジウム'11事務局 (imss-sympo@pfiqst.kek.jp)

シンポジウムホームページ：

<http://imss-sympo.kek.jp/2011/>

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 足立 伸一

渉外幹事 水木純一郎

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr245

Password : ma2Ure8b

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、水木 (mastery@kwansei.ac.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、足立 (shinichi.adachi@kek.jp) までお願いします。